

北斗市水防計画（案）に対するパブリックコメントによる意見の概要と市の考え方

No	該当箇所	意見の内容	市の考え方
1	P11 文教対策	<p>北斗市も主催者に入っている水利施設見学会が毎年夏に開催されています。避難行動を学ぶのは大事ですが、教育の場で地域の灌漑水路や河川を学ぶのも大事です。河川を学ぶという点について追加してほしいと思います。また河川や農業用水などを自然学習の対象にするために、河川を知るための学習の場として親水公園づくりをお願いします。</p> <p>また北斗市には道南農業試験場、土地改良区もあります。これらの歴史あるところと連携した総合的な政策を望みます。</p>	<p>市は児童の健全な育成のため、「第2次北斗市総合計画」において、ふるさとの自然環境や歴史、文化、伝統などを理解し、大切にす意欲を育成するため、学習環境や整備の充実に努める。と記述されています。このことから、子供たちは自然や灌漑水路などの水系がどのような目的で作られているかを屋外での学習を通じて知識を深めていると思われます。このため河川教育や水利施設見学等は、社会教育の一環として社会教育などが計画しているものと考えております。</p>
2	P28 水位観測	<p>北斗市には4つの水位周知河川がありますが、戸切地川はこれには含まれてはいません。下流の地域住民にとっては危険河川との認識を持っています。平成24年（2012年）5月4日、大雨により戸切地川の水位が上昇、タンポポ橋付近の土手まで1mのところまで上昇しています。</p> <p>また、水位上昇により、押上川が内水氾濫を起こし、大工川1丁目の地域に被害を及ぼしています。戸切地川は過去には浚渫が行われ、昨年度は河川の堆積土の除去作業が行われていますから危険度の高い川と認識されていると思います。災害発生時には市は迅速に対応していただいていますから、問題はないのかと思いますが、戸切地川を水位周知河川に含めた対策を講じたほうが良いと思います。</p>	<p>戸切地川は、水位周知河川には指定されておられません。国の指定基準は、国民経済上重大又は相当な損害を生じる恐れがある河川を「水位周知河川」に指定しています。しかしながら戸切地川の水位が上昇し押上川水門から排水ができなくなる事案も発生しており、大雨の場合は職員がポンプを設置して排水を行っています。このため計画的に浚渫や伐採を行うとともに、清川橋に危機管理型水位計を設置して水位監視をしています。</p> <p>また、气象台や国土交通省を通じて住民の皆さんに通報することとしています。</p>